

Plus True

平成27年度文部科学省委託事業  
第1回加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会

# 国内におけるアンチ・ドーピング の展開について

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構  
専務理事・事務局長 浅川 伸



Plus True

## 2020年に向けての道のり

2015年世界規程・日本規程 / 国際基準改定

↓

スポーツ庁設置

↓

2016年オリンピック・パラリンピック@リオ

↓

2017年冬季アジア札幌大会（札幌、帯広）

↓

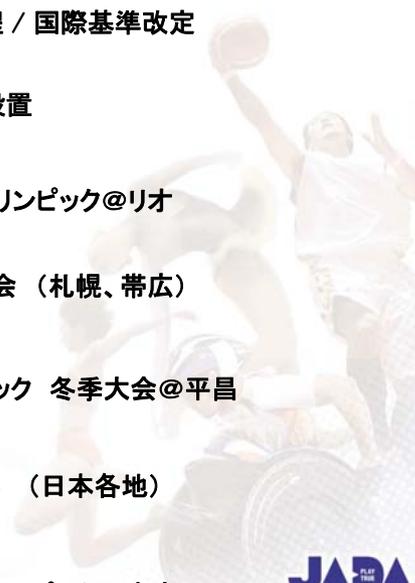
2018年オリンピック・パラリンピック 冬季大会@平昌

↓

2019年Rugby World Cup（日本各地）

↓

2020年オリンピック・パラリンピック@東京



P.L.O. True

## スポーツ基本計画 第1章 1. (1)

### 我が国の社会の現状と目指すべき社会像

(中略)我が国の社会が将来も持続的な発展を遂げるためには、人々が深い絆で結ばれた地域社会が健在であり続け、そこでは、次代を担う青少年が、他者との協同や公正さと規律を学びながら健全に育つとともに、人々が健康に長寿を享受できる社会を実現することが必要であると考えられる。

さらには、国民が自国に誇りを持つことができ、我が国が国際的にも信頼され、尊敬される国であることを目指すべきである。そして、そのような社会を目指すに当たっては、スポーツには大きな貢献が期待される。

これは、被災地でのスポーツによる被災者や避難者を元気づける取組からも分かるように、スポーツは、状況や社会を変える大きな力を持つものであるからである。



JADA  
Japan Anti-Doping Agency

P.L.O. True

## スポーツ基本計画 第1章 1. (3)

### スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会の創出

- ① 青少年が健全に育ち、他者との協同や公正さと規律を重んじる社会
- ② 健康で活力に満ちた長寿社会
- ③ 地域の人々の主体的な協働により、深い絆で結ばれた一体感や活力がある地域社会
- ④ 国民が自国に誇りを持ち、経済的に発展し、活力ある社会
- ⑤ 平和と友好に貢献し、国際的に信頼され、尊敬される国

こうした社会を目指す過程において、またその実現により、スポーツの意義や価値が広く国民に共有され、より多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち互いに支え合う

「新たなスポーツ文化」の確立を目指していくことが必要である。



JADA  
Japan Anti-Doping Agency

Plus True

## スポーツにおける脅威

●ドーピング	●ハラスメント
●八百長、不正賭博	●ガバナンスの欠如

**【オリンピックアジェンダ2020】**  
全40項目(提言)のうち、以下の「7項目」において、スポーツのインテグリティ(誠実、高潔、品位、完全性)に関連する提言がなされている。

- 提言15 クリーンなアスリートを守るためにフィロソフィーを変える。
- 提言16 クリーンなアスリートの保護基金の拠出。
- 提言17 クリーンなアスリートを讃える。
- 提言22 オリンピックの価値に基づいた教育を広げる。
- 提言27 グッドガバナンスの基本的原則を遵守する。
- 提言31 コンプライアンスを確保する。
- 提言32 倫理を強化する。

JADA  
Japan Anti Doping Agency

Plus True

## スポーツの社会的位置づけの変化 スポーツの社会的役割の変化



スポーツの価値、インテグリティ  
(誠実、高潔、品位、完全性)を守る  
活動の重要性の向上

JADA  
Japan Anti Doping Agency

Play True

## 日本アンチ・ドーピング規程序論

日本には、スポーツにおける倫理原則の美徳及び価値について、長い歴史がある。「プレイ・トゥルー」の精神は、日本のスポーツの創設者である嘉納治五郎先生によっても宣言されている。

嘉納先生は、「**順道制勝**」という言葉を提唱した。「順道制勝」とは、

**「勝つにしても道に順って勝ち、負けるにしても道に順って負けなければならぬ。負けても道に順って負ければ、道に背いて勝ったより価値がある」と**いうことを意味する。

嘉納先生が強調したように、スポーツの価値に基づく教育は、アンチ・ドーピング・プログラムの中核的部分である。

**アンチ・ドーピングの取り組み及び活動は、人々がいかにしてスポーツを通して社会的価値を拡大したいと考えているかを示すものである。**

また、日本のスポーツ・コミュニティが、将来の世代のために、いかにしてスポーツを保護し発展させたいと考えているかを示すものである。



JADA  
Japan Anti-Doping Agency

Play True

© 嘉納治五郎

スポーツ宣言日本  
二十一世紀におけるスポーツの使命

平成二十三年七月二十一日、日本体育協会と日本オリンピック委員会は、同年七月に行った記念式典の席上において『スポーツ宣言日本～二十一世紀におけるスポーツの使命～』を発表しました。

この宣言は、100年にわたり日本のスポーツが積み重ねてきた歩みをもとに、次の100年をどのような考え方に立ちどこへ向かって進んでいくべきかの指針を示すものです。

平成23(2011)年に創立100周年を迎えた日本体育協会と日本オリンピック委員会は、同年7月に行った記念式典の席上において『スポーツ宣言日本～二十一世紀におけるスポーツの使命～』を発表しました。

この宣言は、100年にわたり日本のスポーツが積み重ねてきた歩みをもとに、次の100年をどのような考え方に立ちどこへ向かって進んでいくべきかの指針を示すものです。



日本体育協会・日本オリンピック委員会

日本体育協会、日本オリンピック委員会webサイトより引用



JADA  
Japan Anti-Doping Agency

P.L.O. True

## 一步踏み出すための「スポーツ宣言日本」

日本体育協会webサイトからの引用  
<http://www.japan-sports.or.jp/about/tabid/999/Default.aspx>

なぜスポーツを一生懸命やるのか。わかりやすく単純に言えば、楽しいからです。  
それをひとつのカルチャーにしていくためには、楽しみが社会的価値の実現につながっていないといけない。そしてその結び目は、スポーツ界の人自身が作っていくべきです。  
その可能性はもともと持っている。フェアなプレイというのは、公正というものが原点にあります。こういうものがスポーツというフィールドから他の世界へ広がっていくことで、  
スポーツの内在的価値がある種の普遍性を持って外の世界へつながっていく。  
それを表現した時に、スポーツって素晴らしいなという評価が得られていくと思います。  
 アメリカではオリンピックに選ばれた選手にすぐアスリート教育をするのですが、その時、メディアに應對する際には2つのことに気をつけて発言しなさいというそうです。  
 ひとつは、「あなたの発言することはあなたの将来に大きな影響を与える」、もうひとつは「あなたの発言がアメリカでのこの競技全体に大きな影響を与える」ということです。  
自分を大事にするし、自分が育ってきたスポーツも大事にする。  
この2つの思いがあれば、間違った発言はしない。アスリートとは、スポーツの価値が社会的に認められるためのもっとも重要な窓口です。これを大事にしていきたいなと思います。  
 スポーツ宣言の意義や理念は言葉にすると難しいものですが、これを幼い子どもたちにも理解してもらえるよう浸透を図っていくことが、大きな仕事だろうと思います。

(佐伯 年詩雄氏 発言部分より引用)

**JADA**  
 Japan Anti Doping Agency

P.L.O. True

## アンチ・ドーピング活動の位置づけ

- だれが？  
 スポーツに関わるすべての人々が協働して
- どんな目的のために？
  - スポーツの価値、インテグリティを守り、向上させるため
  - アスリートが、スポーツの価値について考え、自らメッセージを発信することに繋がる「気付き」を与えるため
  - 2021年以降の日本において、「あらたなスポーツ文化」が確立され、その意義や価値が広く国民に共有され、根付くことを確実にするために

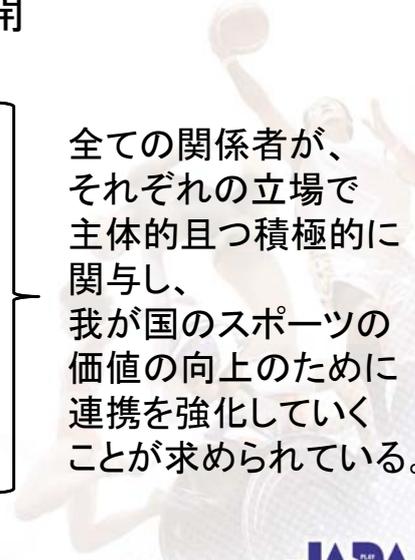
**JADA**  
 Japan Anti Doping Agency

Plus Time

## これからのアンチ・ドーピング活動 の展開

- 国
- 日本スポーツ振興センター
- 統括組織
- 国内競技連盟
- 都道府県体育協会
- 大会組織委員会
- 日本アンチ・ドーピング機構
- 全ての関係者

全ての関係者が、それぞれの立場で主体的且つ積極的に関与し、我が国のスポーツの価値の向上のために連携を強化していくことが求められている。



**JADA**  
Japan Anti-Doping Agency